



ブロック チェーン

先端技術と金融未来



01

研修趣旨紹介



02

講師紹介



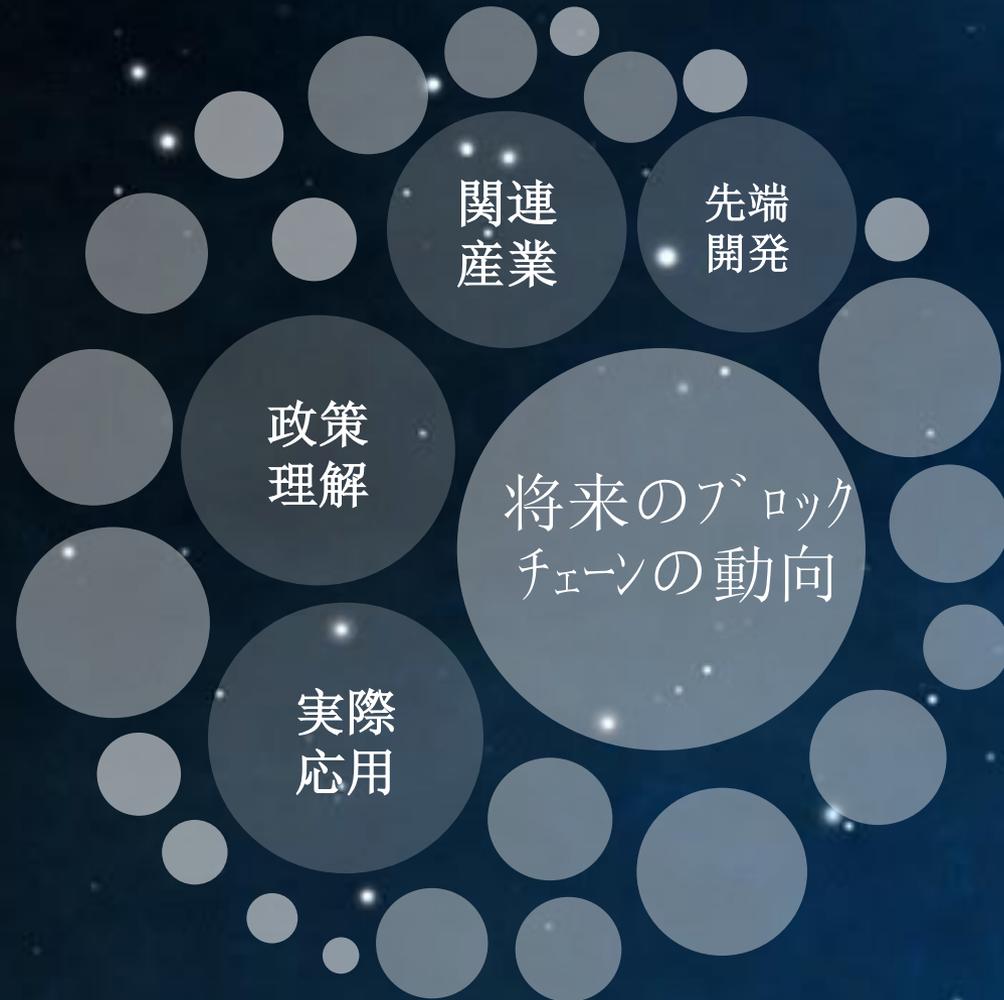
03

アジア太平洋サミット
紹介



04

日程紹介



研修内容

- ブロックチェーンと仮想通貨の日本政府の政策を理解。
- 日本のブロックチェーンの展望と現在の状況
- ブロックチェーンアプリケーションの最新動向
- ビッグデータとAIとの結合による金融、保険、物流、不動産、決済及びその他産業でのブロックチェーンの応用
- 日本初の仮想通貨取引所の日本の仮想通貨の現状と今後の展望を解説。
- 第1回アジア太平洋ブロックチェーンサミットに参加

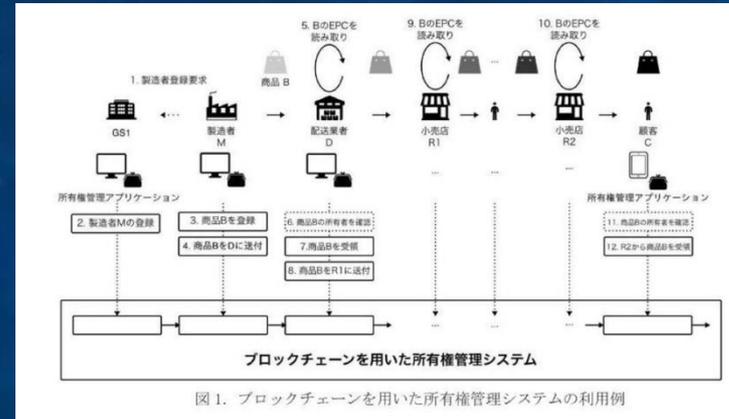


図1. ブロックチェーンを用いた所有権管理システムの利用例

- アジア初の民間機関で権威ある世界的に有名な研究大学・慶応義塾大学は、日本最古の私立総合高等教育機関である。
- 慶應義塾大学の大槻知明教授と豊田健特任助教が世界初のブロックチェーン技術により開発した商品セキュリティ検査システムは幅広い注目を浴びている。
- 豊田健特任助教の発明・研究をテーマに、ブロックチェーンを駆使した将来のアプリケーションを解説する

慶応義塾大学 ブロックチェーンプロジェクト



特別ゲスト



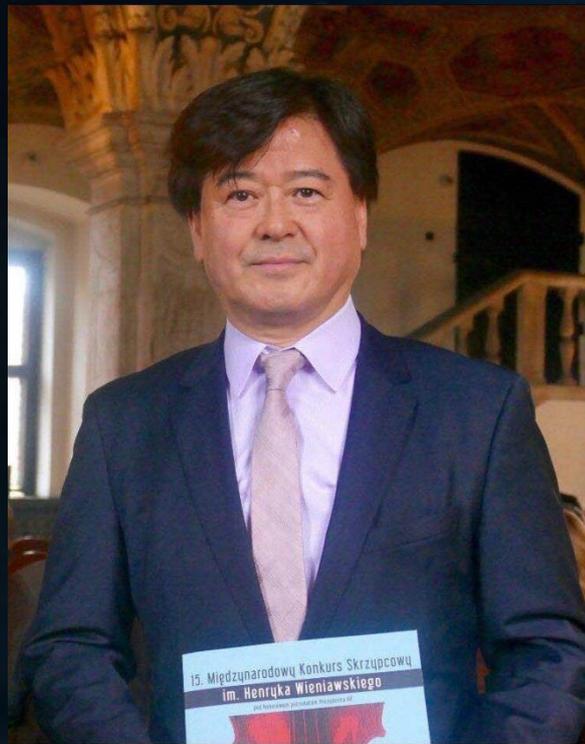
- プライスウォーターハウスクーパースは、世界4大会計事務所の一つである。
- PwC Japanの管理職が、日本での仮想通貨交換業者登録手続き、仮想通貨業界参入手法、日中M&Aについて、具体的な事例で解説する。

プライスウォーター
ハウスクーパース

02



講師紹介



- 西岡進 ルーテンホールディングス株式会社（東証ジャスダック上場）取締役会長
- 内装業、不動産管理業。
- 2018年より仮想通貨（ブロックチェーン）を利用した不動産決済システムの事業を開始
- 不動産とブロックチェーンの融合を推進し事業展開

西岡進

02



講師紹介



紺野勝弥



- 日本初の仮想通貨取引所「Quoinex」の取締役 CFO
- 技術・安全取引・顧客の個人情報保護等を第一の理念に、コールドウォレット技術を利用し、非常に安全な取引コールドウォレットを構築
- 仮想通貨開発チームを率いて独自のトークンを開発
- 2008～2016年、ソフトバンクグループの金融投資部門に勤務し、投資・合併・買収を担当
- 金融と仮想通貨の将来の発展と動向について独自の見解を解説

02



講師紹介



- 世界トップリサーチセンター・NTT研究所主任（唯一の中国籍主任）。現在、NTTが研究するブロックチェーンの企画、研究、アプリケーションを担当
- 2011年から東京工科大学の著名な研究者として、全国ビッグデータ研究プロジェクトに参画、その後NTTの研究プロジェクトに参画
- 2012年NTT総合研究所に入社。ビッグデータリアルタイム分析・処理プラットフォーム研究・開発に従事
- 2012-2015年：創始者の1人として、アジア初のリアルタイムビッグデータ分析・処理プラットフォーム・JUBATUSを完成
- 2015/11-2016/11：アメリカに赴任。世界第2位のグローバルデータセンターサービスプロバイダ（NTT買収後）ディメンションデータアメリカの技術指導を実施
- 現在の研究開発プロジェクトは、ブロックチェーン、AI、ビッグデータを結合した基盤技術のアプリケーションの研究開発に成功し、金融、保険、物流、決済など、世界有数の成果を達成

罗敏

03



サミット特別ゲスト



- 日本ブロックチェーン協会会長（BCCC）
- BCCCは日本最大のブロックチェーン協会
- 三井住友銀行、大和証券、ジャパンインターネットバンクなど各業界の大手企業約200社が会員。

平野洋一郎

03



サミット特別ゲスト



- ビックデータ・人工知能の専門家
- 早稲田大学工学博士、早稲田大学客員研究員、AFC株式会社代表取締役
- ビックデータ処理や機械学習などの人工知能アルゴリズムの専門家
- 科学的データ分析、ディープ学習を中心とした人工知能量的投資モデルの構築に特化
- 日本の大手上場企業に以前勤務し、人工知能関連の技術研究開発と業績転換に10年近い経歴を持ち、また、システムアナリスト資格を有し、40以上の学術論文を発表、日本の発明特許を5つ保有

福沢栄治

第一回アジア太平洋ブロックチェーンサミット

03

サミット紹介

ブロックチェーンの技術応用とその広範な研究開発により、これらのハイテク技術はますます注目を集め、大きな期待が寄せられています。現在、ブロックチェーン技術は急速に発展しており、世界中の様々な大企業がブロックチェーン技術のビジネスへの応用を積極的に模索し、また、政府機関も潜在的な利点を模索しています。大胆な起業家は、この技術をスマートフォンなどに応用する方法を検討しています。

日本は、世界有数の技術先進国の一つであり、ブロックチェーンプロジェクトの開発を積極的に推進し、この技術のもとで現れた最新のビジネスモデルを歓迎するためのオープンな姿勢を採用しています。このサミットでは、最新の動向と業界の見通しを得るために、ブロックチェーンテクノロジーの話題を取り巻く各業界の専門家を招待し、ラウンドテーブルディスカッション、デイナーパーティーなどの無料交流セッションを行い、起業家と技術開発者の間のコミュニケーションの促進を図り、また、ブロックチェーン分野で積極的にチャンスを探している人々のためのオープンプラットフォームを提供する場として活用することができます。このサミットは、ブロックチェーンの第一人者が世界中のさまざまな業界でさらに繁栄するための技術を交流させ、ブロックチェーン化するのに役立つエキサイティングなトピックスを提供できるものと考えています。

B

B



03 第一回アジア太平洋ブロックチェーンサミット

日程Date

2018年3月24日(土)

10:00~21:00

10:00~21:00, Sat, 24th March, 2018

2018年3月25日(日)

10:00~17:00

10:00~ 17:00, Sun, 25th March, 2018



会場

ホテルニューオータニ

東京で最も古い5つ星ホテルの1つ。日本の高層ビルの象徴としても賞賛されている。日本政府とオリンピック委員会の信頼を得て1962年に伏見宮廷跡地に建設され、400年前の日本庭園に囲まれている。繁栄と永遠の象徴





03

第一回アジア太平洋ブロックチェーンサミット

主賓紹介

平野洋一郎: 日本ブロックチェーン協会会長

野口悠紀雄: 《ブロックチェーン革命》作者、日本経済学者、一ツ橋大学教授、東京大学教授、早稲田大学金融研究センター顧問、スタンフォード大学客員教授

金 群: 早稲田大学教授、国際電気電子エンジニア学会・日本情報処理学会高級会員

李 頡: 国際電気電子エンジニア学会ビッグデータ技術委員会主席
通信学会ビッグデータ技術委員会主席

罗党论: 新三板智本連合創始人、広東省相互ネットワーク、金融研究会会長

Katsuya Konno: QUOINEX交易所CFO.

张 店: 日本BTCBOX取引所創始人CEO.

蒋 海: 布比网络創始人兼CEO, 中科院博士

大 永: Tuechain (初链) 創始人



- 3月22日初日
- 国際線で東京に到着。
- 到着後専用車で、国際的な5つ星ホテルにチェックイン。
- 研修ツアー開始



3月23日 2日目午前 専門家講座

◆第1部

豊田健：世界初偽造防止システム、ブロックチェーンの今後の応用

◆第2部

プライスウォーターハウスクーパース：日本の仮想通貨交換業者登録手続き、仮想通貨業界参入手法

◆第3部

西岡進：仮想通貨と不動産業界の統合方式、実用的なアプリケーション、特性、取引プロセス、運用モデル、今後の開発動向



3月23日 2日目午後 専門家講座

・紺野勝弥：日本の仮想通貨市場の分析、日本の仮想通貨取引所の最近の動向、将来の方向性、リスクコントロール手法導入

・羅 敏：NTTリサーチセンターの最近の研究プロジェクト。ブロックチェーン、AI、ビッグデータと金融、保険、物流などの具体的なアプリケーション、今後の潜在的価値の紹介

・夕食：和風焼肉、日本高級和牛・松阪牛

- 3月24日3日目
- アジア太平洋ブロックチェーンサミット
- 午前 主賓挨拶、専門家講演
- 午後 ラウンドテーブル会議、テクノロジーアプリケーションの展望
- 夜 交流宴席



- 3月25日4日目
- アジア太平洋ブロックチェーンサミット
- 各チーム (15 チーム) のロードショーを公聴、対話型ディスカッション実施
- 投資家とアプリケーションプロジェクトとのラウンドテーブルディスカッション
- 夜 懐石料理、内部交流会



- 3月26日5日目
- 専用車で空港へ。
- 国際線飛行機で中国に帰国
- 楽しい日本の研修ツアーの終了

